

島唄と泡盛にほろ酔い気分

島唄・泡盛・民家園ライブ



▲大島保克さん(左)と笹子重治さん(右)

5月28日、深谷にある「民家園ふるさと」において、ふれあいコンサート実行委員会による「島唄・泡盛・民家園ライブ」が行われました。

今回ライブを行った大島保克さんは沖縄石垣島出身。沖縄の島唄の正統派唄者として世界的に注目を集めている方です。

当日、会場となった民家園は、庭にはかがり火がたかれ、室内の照明はランタンのみというこだわりようでした。

ライブがスタートすると、大島さんはトークを交えながら沖縄民謡やオリジナルの曲を次々に披露、大島さんの歌声と三弦、そして伴奏者の笹子重治さんの奏でるギターのハーモニーに、会場は沖縄の雰囲気包まれていました。

参加者らは、ふるまわれた沖縄の焼酎「泡盛」を飲みながら大島さんの歌声を聞き、沖縄気分を満喫していました。

エッ 昔は小学生が1,000人!?

飯樋小学校生が「飯館の昔」を調査



▲公民館職員から説明を受けました。

5月29日、飯樋小学校6年生が総合的学習の時間に「飯館村の昔」を調査しました。

このうち、公民館で学校の歴史を調べていた子供たちは、自分たちの学校の設立年度やその頃の授業の様子に興味深そうに調べていましたが、そのなかでも、昔は小学生が1,000人以上もいたことを知ってとても驚いた様子でした。

また、昔の暮らしを調べていた子供たちは、笠石遺跡から出土した土器の復元作業を体験。形の合う破片を探しながら昔の人の暮らしに思いを馳せていました。



▲珍しそうに土器を眺める子供たち